



ゆづりは

堺市立図書館だより

第8巻 第1号 (通巻27号)

発行日 平成25年6月10日

編集・発行 堺市立中央図書館

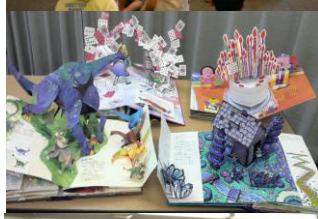
〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072(244)3811

Fax 072(244)3321

URL <http://www.lib-sakai.jp/>

夏休みは図書館に行こう！！ 図書館わくわくパレード'13夏 開催



7・8月には楽しいイベントが目白押しです。

恒例の夏のおはなし大会は、ろうそくの光の中で冷や汗がでるような怖いおはなしから腹を抱えて笑うおはなしまで盛りだくさん。

赤ちゃん向けの読み聞かせ会では、たっぷり夏を感じられるテーマの絵本や手遊びを、みんな一緒に楽しめます。

大仙公園にある中央図書館では、この時期だけの公開「とびだす絵本の展示会」を催します。精巧なしくみのしかけ絵本から、迫力ある恐竜の飛び出す絵本まで、ここでしか見られない絵本が大集合。見て触って感じてみてくださいね。

夏休みといえば自然に親しむ絶好の機会。

中央図書館では、8月7日(水曜)「夏休み科学工作教室」、西図書館では7月26日(金曜)自然や生物に親しむ講座「チリメモンスターをさがそう」が、いずれも小学生とその保護者を対象に開催されます。「図書館わくわくパレード'13夏」ちらしを参考に、どうぞお申込みください♪

☆堺市子ども文庫連絡会が子どもゆめ基金助成を受けて主催する事業もご紹介。



7月20日(土曜) 榎文化会館で、昆虫写真家として著名な新開孝さんをお招きし、大人の方を対象にした講演会「虫のしわざ探検」、7月21日(日曜)には南区のふれあいの森で小・中学生を対象(大人の見学可)にしたワークショップ「自然の中にズームイン」が開催されます。



夏に見かける虫たちのいつもと違う表情を、ファインダーに収める新開さんのおはなしに乞うご期待！

本の広場&宿題応援

中央図書館では、図書館員が選んだ小・中学生にお薦めする本を展示し、図書館の本を使った自由研究、調べ物を応援する「本の広場&宿題応援」を開催します。詳しくは、中央図書館へ、お問い合わせください。



目次

図書館わくわくパレード'13夏開催 … 1

「おはなしふくろう」文部科学大臣表彰受賞 … 2

「はにぼん」をよろしく … 2

シリーズ堺の〇〇戦国大名 伊藤義祐と堺 … 2

堺かるた いろはの「う」 … 3

この本で解決！？もう一度読みたいあの本 … 3

司書のイチ押し！『日本でいちばんたいせつにしたい会社』 … 3

「歴史的音源」を聞いてみよう … 4

堺市立図書館電話番号一覧 … 4

ゆづりは

とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて 譲り葉の
ゆづりしあとに また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だより「ゆづりは」と名づけました。



「おはなしふくろう」 文部科学大臣表彰受賞

西区を中心に活動されているボランティアグループ「おはなしふくろう」が平成25年度子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受けられました。



20年間、図書館・小学校・幼稚園・保育所などで多くの子ども達におはなしを語り、読書の楽しさを伝えてこられた活動が称えられました。

「おはなしかご」「おななしはなたばの会」「美原おはなしスプーンの会」のボランティアグループも、過去に同じ表彰を受けています。

「はにぼん」をよろしく

4月28日第9回のビブリオバトルにて、堺図書館ビブリオバトル倶楽部のキャラクターの名前が決定しました。



「はにぼん」

倶楽部会員がデザインした、かわいい“はにわ”は、数ある候補の中から、見学者の支持の多かった「はにぼん」になりました。これからも「はにぼん」とともに、知的な書評合戦は続いていきます。みなさまも、ビブリオバトルにぜひご参加ください。

シリーズ 堺の〇〇

戦国大名 伊東義祐と堺

慈光寺（堺区中之町東四丁）に戦国大名伊東義祐の墓所があります。遠く九州日向の戦国大名だった伊東義祐が、堺の地に葬られることになったいきさつは—。

伊東義祐の半生は、戦いに明け暮れたものでした。伊東家の二男として生まれた伊東義祐は、家督争いを制して家督を継いだあと、島津氏と日向南部の飢肥おびの権益をめぐって、長い攻防を繰り返しました。それに勝利し、「伊東四十八城」を版図とする伊東氏の全盛期を築きあげました。しかし、長くは続かず、勢力を拡大した島津氏に大敗し、子の祐兵すけだけとともに豊後に落ちのびることになります。

伊東義祐画像（写真）



その後も、義祐は一人流浪の旅を続けましたが、堺の祐兵の屋敷に向かう船中で発病し、

かわかりを嫌った船頭によって、堺の浜に捨てられてしまいます。1585年8月、73歳でその生涯を閉じました。

その墓石は長く不明でしたが、近世に入り、慈光寺に「入道石」とよばれていた石碑と、入道の自画と称せられる画像一幅があることがわかりました。そして、「入道石」が義祐の墓石であると認められ、飢肥藩の代参によって1814年初めて法要が営まれました。

慈光寺にあった画像一幅は太平洋戦争の空襲で焼失し、『堺市史』編纂のために撮影された写真のみが堺市立中央図書館に残っています。



伊東義祐墓所（慈光寺境内）

参考文献 『伊東義祐と佐土原』

宮崎市佐土原歴史資料館／編集・発行
『堺市史 第7巻 別編』堺市／編集・発行
『宮崎県の歴史』坂上康俊／著 山川出版社
『図説宮崎・南那珂・東諸の歴史』郷土出版社

堺かるた - いろはの「う」
うみこい あきこ う さかい
「海恋し 晶子生まれた この堺」



与謝野晶子は、明治11年12月に堺県堺区甲斐町（現在の甲斐町西1丁）に、和菓子商「駿河屋」二代目店主・鳳宗七の三女として誕生、「志よう」と名づけられました。

家業の手伝いをしながら、『源氏物語』などの古典文学に親しみ、堺女学校（現在の泉陽高等学校）を卒業後、「堺敷島会」や「関西青年文学会」などに入会して、次々と歌や詩を発表します。

明治33年に大阪で開かれた講演会で、晶子は初めて与謝野鉄幹に出会い、この出会いがきっかけで、晶子は堺を離れて、東京へ旅立つことになります。

昭和36年、晶子没後二十年祭の行事のひとつとして、堺市教育委員会により生家跡に歌碑が建てられました。

「海こいし 潮の遠鳴りかぞへつゝ」

少女となり父母の家」

波の音を聞きながら、故郷堺の海や生まれ育った家を懐かしんだ歌で、明治38年刊行の『恋衣』に載っています。

この本で解決!? もう一度読みたいあの本

図書館には「昔読んだことのある本をもう一度読みたい」というお問い合わせがよくあります。その中から、2件をご紹介します。

①中学生の頃に学校図書館で借りて読んだ本をもう一度ぜひ読みたい。

「中学生の頃に学校図書館で借りて読んだ本をもう一度ぜひ読みたい。小さいサムライが小さい刀をもちチョンマゲをゆった絵があった。「チンデンこばかま夜もふけそうそう」といいながら壁かダンスか何かから小さいサムライが何人か出てくる。」という質問でした。

佐渡島の昔話、福井県の伝説に類話ありということがわかり、『日本古典物語全集 29 日本民話物語』（坪田譲治/著、岩崎書店）P.165「ちいちこばかま」佐渡島の昔話。『日本の民話 9 太平の天下』（角川書店）P.55「化け物岩の怪」福井県の伝説をご提供しました。

『ガイドブック日本の民話』（講談社）に各地の昔話が載っている古い本の一覧がありました。

②昔読んだ絵本をもう一度読みたい。

「15～20年前に、堺市の図書館で「木の上に住んでいる小さいおばあさんがラディッシュを育てて、「いつもありがとう」という感じで誰かと2人でラディッシュを食べるラストシーンが印象的な絵本を借りたのだが、もう一度読みたい。」というお問い合わせがありました。

調査中、インターネット上でも同じ内容のレファレンスや、「ラディッシュではなくいちごではないか？」などの書き込みを多々発見しましたが、結局、ある図書館職員の記憶から、『みどりのはしご』安房 直子/作、黒井 健/絵（学研おはなしえほん14巻1号（1982年4月発行））ではないかと判明しました。堺市には所蔵がなく、大阪国際児童文学館で閲覧が可能でとのお答えしました。

また、堺市所蔵の『おはなし おはなし たのしいね』（日本児童文学者協会/編集、童心社）に文章のみ掲載されているので、そちらも内容確認のために提供したところ、「これでした!」と、とても喜んでいただきました。

このように、懐かしい本をもう一度読んでみたい方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。

司書のイチ押し!

「日本でいちばん大切にしたい会社」 坂本 光司／著 あさ出版

みなさんは、イソップ寓話「太陽と北風」のおはなしをご存じですか。冷たく厳しい態度で人を動かそうとしても、かえって人は頑なになるが、暖かく優しい言葉を掛けたり、態度を示すことによって人は自分から行動してくれるという教訓として、よく紹介されるおはなしです。

この本の著者は、大学院で「中小企業経営論」、「地域産業論」、「地域経済論」、「福祉産業論」を専門に調査研究し、教えておられる先生です。これまでに訪問調査した企業は、優に 6,000 社以上。そんな先生が、「日本でいちばん大切にしたい会社」として本編に 5 社、コラムに 9 社紹介しているこの本を読むと、つい「太陽と北風」の寓話を連想してしまいます。

最初に紹介されているチョークメーカーでは、従業員約 50 人のうち、およそ 7 割の社員に知的障害があります。

たくさん採用するきっかけは特別支援学校の先生のたび重なる要請で、ふたりの女生徒を 1 週間の職場体験に受け入れたことです。

毎日、一生懸命仕事をする生徒を見ていて、社員

のみんなが、自分たちが面倒をみるからふたりを採用してほしいと、体験が終わる前日に当時の専務にお願いしたそうです。

ふたりの採用が決まり、作業工程に人があわせるのではなく、工程を人にあわせることによって彼女達が働きやすいようにしました。能力に合わせ、やり方、機械を工夫することで働く環境を整えたのです。そうした工夫の結果、次年度から知的障害のある社員の採用が続きました。

他にも、障害者の雇用を目的に作られた会社、社員自身が会社で働くことの幸せを実感できる会社、^{へんび}辺鄙な場所にある会社に大都市から働きたいと若者が集まる会社、地域のこどもたちの通学の安全のために歩道橋を寄付した会社などが紹介されています。

地域社会や地域住民、お客様や下請け企業、社員や株主のところに響く経営をしている会社、心が満たされるような経営をしている会社のエピソードに心を打たれ、温かい気持ちが広がります。

(T)

「歴史的音源」を聞いてみよう

国立国会図書館でしか聞くことができなかった「歴史的音源」を平成 25 年 1 月 4 日(金曜)から、堺市立図書館のオンラインデータベース閲覧端末で聞くことができるようになりました。

1900 年初頭～1950 年頃までに国内で製造された SP 盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説など。落語、長唄、楽曲、歌劇、浄瑠璃、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズなど様々なものが含まれています。

図書館のカウンターでオンラインデータベース端末の利用をお申込みください。

イヤホン(ミニプラグ端子)と貸出カードが必要です。

中央図書館、中図書館、東図書館、西図書館、南図書館、北図書館、美原図書館でご利用いただけます。

詳しくは、各館へお問い合わせください。



堺市立図書館電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415	東図書館	235-1345
中央図書館	244-3811	初芝分館	286-0071
くすのき号	244-3811	西図書館	271-2032
堺市駅前分館	222-0140	南図書館	294-0123
中図書館	270-8140	樺分館	296-0025
東百舌鳥分館	234-9600	美木多分館	296-2111

北図書館	258-6850
美原図書館	369-1166
人権ふれあいセンター図書ホール	245-2534
青少年センター図書室	228-6331
ホームページ URL	http://www.lib-sakai.jp
携帯ホームページ URL	http://www.lib-sakai.jp/m/

